

基本目標 3 子育てしやすいまち

【基本施策】①子育て支援の充実

②未来につながる教育の充実

年 代	自 由 意 見
10 歳代	● 読書をするのがあまりないので、電子書籍を活用して何が変わるのか気になった。 ● 子育てしやすい街になってほしい。 ● あと子どもを産みやすいよう支援をたくさんしてほしい。 ● 子育て支援や教育の充実が、移住者や U ターン者を増やすことにつながると思うから。 ● 18 歳まで医療費無償化は子育てする側はとても助かるのではないかなと思う。 ● 親子で行ける公共施設もあるにはあるし医療機関も沢山あるのでこのまま頑張ってもらいたい。 ● 読書環境の整備は読書好きの身からしてもとてもありがたいことなので嬉しい。
20 歳代	● 電子書籍の導入は、図書館から遠い家の人でも本を読むことができるため、いいと思う。 ● 住みやすい町作りを行う上でとても重要であり、人材・機器の確保が課題になりそう。 ● 電子書籍は本を読むきっかけにならない。紙媒体の本を通じて、「読書をする楽しさ」を知った人にのみ有効だと思う。 ● 産後ケアを、もっと充実させてほしい。 ● 遊具のある公園を増やす。
30 歳代	● 他県の取り組みを参考に、取り組んで、住みやすい育てやすい街にしたい。 ● 医療費の窓口負担をなくしてほしい。 ● 幼稚園（こども園）の 2 号枠を増やしてほしい。 ● 県プラの遊び場の利用方法の改善。当日窓口での受付可能にしてもらいたい。予約制だと気軽に利用できない。 ● NPO 法人を無くすべき。 ● 産後ケアは第一子しか受けられないこともあり不便を感じた。 ● 明石市を参考にしたい。 ● 電子書籍にたどり着くまでが難しく、検索も難しい。もっと簡単にしてほしい。 ● 妊婦さんや子供を大事にするのはわかるが、無償化して税金等が上がるのではあればちょっと疑問である。 ● 小さくても公園等が増えるといいなと思う。 ● 子供を遊ばせる場所が少ない。暑い日や雨の日に、室内遊びができる所が少ない。日曜日（保育園が休みの日）に、そういう所がほしい。 ● おたふく風邪やインフルエンザ等の接種をしなくてもいいので、是非無償化にしたい。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	● 幼稚園、保育園が少なすぎる。 ● 対応や取組に時間がかかり過ぎている。 ● 子育て支援についてはほとんどいいが、福岡県みたいな制度が増えるともっといいなと思う。 ● 教育に関して、タブレットの持ち帰りなどを時間設定できるようにしてほしい。 ● 窓口負担している県、唯一が鹿児島である。子育て世帯が不安なく子育てができるようお願いしたい。 ● 他の地域で子育てをしたことがないが、この取り組みが無くなっては困るが、どこの自治体も行っている事ではないか。 ● 取組自体知らない。目標で終わらせることなく実現してほしい。期待したい。 ● 実家がない人の為や忙しい人の為にベビーシッターのサービス等を充実させてほしい。 ● サービスは充実していると思うが、教育・育児・発達について専門家に相談できる場所が十分でないと感じる。育児体験ではなく、専門家によるアドバイスがほしいことも多いため。 ● 子育てをしたことがないのでわからないが、実際に子育てをされている方の声をこまめに聴くことが大切なのかなと思った。 ● 妊娠出産を経験して、保健師さんの訪問ケアがあり分からないことや不安が和らいだ！医療費も18歳まで無償化になりすごく助かる。 ● 乳幼児健康診査はやって当たり前だと思う。乳幼児を持つ世帯への更なる手厚い手当が必要だと思う。(オムツ券の増額・ミルク券の交付) ● 子供医療費の窓口負担の排除(県への依頼)。 ● 鹿児島市内の学校の行事への親の参加状況を鹿屋の学校の親と比較すると、鹿屋の親の出席率は悪いと思うことから、子どもに寄り添う教育のあり方を推進しないといけないと思う。 ● 健診や子育てアプリなど活用していて、助かることが多い。 ● 公園も人が少ないので思い切り走り回れる。 ● 読書は大事だが、小さいうちは紙の本に慣れてほしい。また、書籍だけでなく一緒に読む大人の存在も必要だと思う。 ● 串良町には近くに小さい公園が少ないので、ぜひ作ってほしい。 ● 街灯が少ない。 ● 1年間の育児休暇があるのに、兄弟で同じ保育園に入れないという現状。そのため休暇期間を早めに切り上げ、保育園に入れるために仕事をするという現状である。 ● 現在子育て中だが、医療費無償はかなり助かる。窓口での支払いがなくなるともっと嬉しい。また小さいうちは遊べる公園の選択肢がたくさんある(コンパクトな公園はたくさんある)が、ある程度大きくなると霧島ヶ丘くらいしか選択肢がないのが残念な気がする。 ● 医療費無料なら窓口負担をなくせ。

年 代	自 由 意 見
-----	---------

30 歳代	● 医療費を払う時に、初めから負担をなくしてほしい。鹿児島だけがこの対応と出遅れている。 ● 未来に向けての学習はいいと思う一方で何度も言うが若者が住みたい街にならないとそもそも子供を産んで育てたいとも思わないのでこの政策も限定的になってしまうのが残念。
40 歳代	● 電子書籍導入について、期待したいが本を手にとってふれる機会が減ってしまうのはどうかとも思う。 ● 教育環境があまりにも悪い。子育て施設も少ない。転勤族がなじみにくい雰囲気がある。食育の充実。 ● 子育て中だが、子ども向けのイベント開催や医療費の補助など、いつも有難いと感じている。ありがとう。 ● 具体的に対応してくれることを明文化して、分かりやすく相談しやすい場所であると良い。 ● 小児科の窓口無料化は早期にしていきたい。 ● 夜間の小児科を作してほしい。 ● 市立図書館をよく利用させていただいている。電子書籍導入により今まで読むことが出来なかった本などに触れる機会が増え、可能性の幅が増すのは良いことだと思う。 ● 病児保育の施設を増やしてほしい。物価等値上がり、仕事を休んでばかりだと生活できない。 ● 電子書籍で本を読む子が増えるでしょうか?スマホやタブレットで本を読んでいる子達は、わざわざ市のサイトを、利用するとは思えない。それよりも、子供がワクワクして行きたくなるような、図書館を作してほしい。 ● 無意味に発達障がい者を、増やしているようにしか見えない。親も子も乳児健診が不安でしかない。 ● 18 歳までの医療費無償化は、本当に有り難い。 ● 助かっている。産後も家に訪問してくれて心強かった。(実家が遠方の為) ● こういった取組をもっと知ってもらえれば良いと思う。電子書籍が、分かりやすくどういうものというのをみんなが目にとできるところに説明があるといいと思う。 ● 医療費無償化について、現金支給・会計なしなので助かっている。 ● 未来につながる教育、書を楽しむ雰囲気の良いところが欲しい。 ● 電子書籍に関しては大々的に PR していたが、中を見ると読みたいものがあまりなくて期待外れでした。それ以来利用していません。 ● 子育て支援となる基点の場所は、保健センターでしょうか?場所が行きやすく、相談しやすい場所を作してほしい。 ● 電子書籍はいいが、まずは本を読む環境をいろいろな場所に作ってもらえたらと思う。図書コーナーということではなく、本の種類、読みやすい場作り等。 ● 窓口での子供の医療費一時負担、全国で唯一、いつまでこのままにしておくのか

年 代	自 由 意 見
40 歳代	呆れるレベルである。 ● 小学校での指導が限界だと校長が仰っていた。私も保護者として不安に思うところが多々ある。教育現場の先生への救済が必須だと感じる。乱暴な生徒なども実際にいる。安心して通わせられるのか心配である。 ● 公園整備等。 ● 教科書は重たく、場所も取るので、電子書籍導入は良いかと思う。ただ費用負担はどうなる？など問題もある。 ● 子育て支援はもっとあっても良いと思う。市独自の支援、給食費無償化や高校無償化、鹿屋市内に在住、もしくは、鹿屋市内から通学する大学生などの支援。 ● 子どもが病気で預かってくれる場所。 ● 子育てに関しては充実していると思う。保健師など、雇用を増やして核家族で子育てしている方をさらにサポートしてあげてほしいと思う。 ● 子どもの医療費が還付されるのであれば、最初から窓口支払いを無くしてほしい。 ● 県は未就学児は窓口負担がないときいているが、高校生まで同じようにしてもらえたらありがたい！（急な発熱やケガの頻度は減るが、負担は同じはず？） ● 電子書籍はいいと思う。 ● 子供の医療費無償化はありがたい。全国にもっと PR した方がいいと思う。PR が足りない。 ● 読書環境の取り組みについてピンと来ない。「親と子の 20 分読書」運動は、その一環で学校で読書感想文など書かせて、親にも読むよう呼びかけがあるが、こういうのは子供たちを本嫌いにするばかりで本末転倒な取り組みだと感じる。やりたくもないのにやらされる体験は良いものをうまない。電子図書はまだ冊数が少ないと思うし、子供の視力のことを思うと積極的に使わせたいと思わない。ブックスタート事業はいいと思う。0 歳児の他に 10 歳の子にも相応の本をいくつかのなかから選ばせて配布したらどうか。 ● 産婦人科も少なく産む時点から不安が大きい。 ● 小中学校の給食を「食育」の観点から無償化に。 ● 子育て支援については非常にありがたいと思っているが、他県に住んでいた時は幼児用の室内パークがあつたりしたのでさらに期待したい。 ● 電子書籍等も充実しているが予約が多すぎる書籍もあり改善してほしいところもある。 ● 子育てには良い環境。 ● 健診で嫌な思いをして以降子育てには期待していない。県外と足並み揃えて窓口支払い無料にしてほしい安心して受診できる小児科も少ない。 ● 相談員の知識不足が否めないため、分からないことは安易に答えないでもらいたい。 ● 他の都市と同じことをしているだけで、特段育てやすい取り組みをしているとは思えない。働く母親も増えているのに、環境は変わらず。PTA は家庭には大き

年 代	自 由 意 見
40 歳代	な負担になっており、運動会も午前中だけにしてもらえれば母親も気楽に子供と楽しめる行事になると思うし、PTA の廃止！など、他府県ではみられない大きな改革があれば育てやすくなるのにと思っている。 ● 病院受診時の医療費の現金払いをなくしてほしい。
50 歳代	● 保育料の無償化はしないのでしょうか(3才未満児)。地域によっては、実施しているところもあるが…(大崎町) ● 電子書籍導入しても使い方がわからない。そもそもパソコンを持っていない。スマホの画面は小さくて老眼では読むのが辛い。 ● 長期的視点で(乳幼児期、学童期、中高期などと分けずに) 施策を市や専門機関と検討してほしい。 ● さらに利用しやすいように工夫してほしい。 ● 最近は色々な取り組みが見られて良いと思う。 ● 時代に合った支援・教育は大切だと思う。 ● 「よそ者を受け入れない大人」にならないような子育てをするようにしてほしい！ ● 18 歳からお金がかかるのに支援がない。大学や専門学校で何百万と掛かる。一人親には辛い。 ● 子育てしやすくても、その子たちが鹿屋に住みたいと思わなかったら税金を投入していくらやっても未来はないと思う。 ● 自身の子育てのころは、医療費負担分を請求しなければならなかったし、乳児がいるのに病院を回らなければならなくて、何でこんな方法をとっているのかと疑問を感じていた。現在、良い方向に変わっていることは喜ばしいと思う。 ● 雇用環境の充実。 ● 本は電子じゃない方が良い。
60 歳代	● 子育てもひと段落したのでほっとしているが、子育ては経験した人でないと大変さはわからない。子供を産み育てるための充実した支援をしてほしい。結婚を考えない。しない人も増えている。 ● 子育て中、大変困った問題でした。お金が無くても育てられたら子育てが楽になる。 ● 高齢者には電子書籍はハードルが高いが、子供や若者には良いのでは。 ● 十分な予算措置をお願いしたい。 ● 安心して出産できる病院の増設(産後ケアも含めて)。 ● 娘がお産をし、産後ケアをしてもらいとても助かった。 ● 産後ケアの周知が不十分であり、産婦人科や広報などを利用して、多くの人にアピールしたら良いと思う。 ● 産後は本人、その母親共に不安を抱えながら過ごしている。特に今と昔では新生児、乳幼児への対処の仕方が変わっており、産後保健師さんが自宅に来て色々な相談に乗ってくれたことも、とても助けになった。回数の制限があるとのことだったが必要に応じて出向いていただくと、産婦とその親はおおいに助かると思

年 代	自 由 意 見
60 歳代	う。 ● 産婦人科はあるが、産科はやっていない。 ● 子供たちが伸び伸びと育つ為の取組があるのは良いことと思う。 ● 基本は自分で産んだ子供だから自分ができる範囲で育てるべきだと思うが、支援をしたら、子供がすすすすく育つのでしょうか？ ● 子供が何人いても、働く場所がないのが問題なのでは？ ● 安心して子供を預けて働ける場所があれば、お金の不安も少なくなるのでは？ ● なぜ高齢者のことは考えないのでしょうか？ ● 都城市のように図書館を中心にしたらどうでしょうか。具体的には図書館をリナシティに持ってくるなど。持続しないのは家賃が高すぎるからではないでしょうか。 ● 乳児健診など充実している。 ● 未来につながる教育の充実にはぜひ期待したい。 ● 保育園・幼稚園を増やし、親が安心できる環境が第一！ ● 預け先がしっかりと働けない。まずは、学童だけでなく他の方法で施設と体制を整えられないか。 ● 子育て支援をより充実に、具体策を明確に。 ● 自分たちの子育てのころより、共働きをする親も多く、それに伴って支援も充実していると思う。働き方改革などで男親も休みやすくなっているようだ。 ● 他県、他市に住む鹿屋市出身者が地元出産を希望した場合、何か特典があるのでしょうか。 ● 政府行政に沿った施策の実施に期待したい。 ● 乳児医療費は窓口負担をなくすべきだと思う。 ● 小学校に上がるまでは、環境が一番だと考える。皆同じ考えなので、市内平等な環境を望む。 ● 超高齢化が進んでいる本市として、必要な財源を負担できる。また、少子化での人数確保対応のバックアップができるか不明。 ● 図書館に力を入れてほしい。本を借りるだけでなく都城の図書館みたいに行きたくなるような、カフェがあるなど。 ● 窓口での医療費負担ゼロを目指してほしい。 ● 電子書籍導入は何年も前から話はあったのにまだ実施されていないことに驚いている。 ● 産むから育てる若い人たちへのサポートや交流の場は多い方がいい。親が孤立しない手立ても大事になる世相のようだ。
70 歳代	● 少子化が進むばかりで先々が心配。子育ての前に子供が増えてほしい。 ● 市の保健センターの発動で検診、医療費無償化はおおいに役に立っている。 ● 学校でタブレット等で電子書籍の整備は子供たちにとっても良い。 ● 乳幼児健康診査は広報で知っていたが、他は知らなかった。産後ケアなど、重要なのでぜひ充実してほしい。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	● 小さい幼児まで、タブレットでユーチューブに夢中。何か弊害がありそうで心配。 ● 一人親でも子育てしやすい環境を作ってほしい。 ● 電子書籍について、どのような書籍を読んでもらいたいのかを考える必要があると思う。未来につながる教育の充実はいいが、どのように誘導していけるのか？ ● 最近は子供たちの声も聞くことがなくなり寂しい。子育て支援におおいに取り組んでほしい。 ● 支援される親の要望をしっかりと聞いて、活動につなげて行ってほしい。 ● 子供が育つ環境は大切。 ● 子育て世帯には必要な施策だと思う。娘世帯が助かると言っていた。 ● 小・中学生に、「本を読ませる」環境を作って頂きたい。 ● そのためには、先の「電子書籍」を利用しやすくするために、鹿屋市の小中学生の利用料を補助、無料化できないだろうか？ ● 未来の子供達は財産。大切に育てていかないといけないと思う。 ● 子育て支援は全国同一の支援であることから、鹿屋市独自政策が必要と感じている。例えば、企業と連携して社会全体としての働きやすい環境の整備など。 ● 学費と医療費の無償化以外に、オーガニック給食を実施すべきである。
80 歳以上	● 少子化の現在ももっと工夫して取り組んでほしい。 ● 自然の中で育てたい。コンクリートの中より田舎で育てる方が良い。